

洋書を読み、ランプシェードを船便で取り寄せて。
この家は、今まで温めていた想いの結晶です。

クール2014年
2月号に水戸市
Hさんのおうちが
掲載されました。



理絵ママファミリー
Rio Mama Family
和志(かずし)11歳、10歳の愛
結香(あゆか)ちゃん、8歳の大
真(だいき)くん、5歳の太郎
(はると)くんの5人家族。



この地にあった古い納屋の引き戸。祖母のお店にあった瓶。
古い物たちがよみがえり、調和する住まい。



「本物」を感じたから、エブリッジを選びました。エブリッジホームを知ったきっかけは、ママ友のおうちに遊びに行ったこと。そのおうちもエブリッジホームで建てた家だったんです。こだわりの空間づくりを見てとても惹かれたし、「こちらからの提案をすべて取り入れてくれる」と聞いて、なかなかそういうところはないな、と気になりました。その後、多くの会社を検討しましたが、決め手となったのは、やっぱり最初に見て「いいな」と思った印象。何と云うか、「本物」の匂いがしたんです。

アンティークが好きな私たちは、ランプシェードなど、古い物を取り寄せては用意していたんですが、躊躇せずに取り付けてくれるばかりか、逆に梁のエイジング加工なども提案してくれて。スタッフさんとても勉強熱心で提案も豊富、インテリアの洋書なども見せてくれました。

お気に入りポイント3



リビングと和室を仕切るトビラは、もともと建っていた納屋の引き戸を自分たちで塗ったもの。和室のミンシンや瓶は、駄菓子屋さんをしていたママのおばあちゃんが使っていたものだそう。

お気に入りポイント2



ラベンダー色に塗られた、愛結香ちゃんの子どもの部屋。男の子2人の部屋はブルー。板壁を家族で白く塗ったこともいい思い出なのだとか。

お気に入りポイント1



お菓子づくりが好きなママこだわりの、人工大理石の天板。直に生地を伸ばせるから、子どもたちのクッキーづくりも、楽しくはかどりませう。

ここもお気に入り



玄関のステンドグラスは、窓のように開閉。「エブリッジさんに、開いたらいいな、と言ってみたら、本当に開くようにしてくれました」。



リビングに下がるランプシェードには、こだわって購入した物がたくさん! フランスから船便で取り寄せたアンティークも。



キッチン横のノドトリーは、ママの家事スペースも兼ねます。パソコンでレシピを調べてすぐ料理、もラクラクできちゃいます。



明るい印象を受ける、レンガの外観。ウッドデッキでは家族でお茶を飲むことも。ママは花壇の手入れも楽しんでいるのだそう。

たくさんの子育て中のママ、パパからうれしいメッセージがたくさん届いています!



由季子ママファミリーのお家
始まりは、家づくり、インテリアも、手づくりも、夢中になって追いかけて、洋書だって読みました。



友紀子ママファミリーのお家
悩んで、迷いながら、何度も話し合っで進んだからこそ、後悔のない、満足のいく家が出来たのだと思います。



麻利ママファミリーのお家
古くなったり汚れたりするの「味でいいな」と感じられるようになりました。



エブリッジホーム株式会社 茨城県鉾田市柏館457-4
TEL:0291-32-3139 FAX:0291-32-2843
<http://www.tomine.co.jp/> エブリッジホーム 検索

フェイスブックも見てね!



お電話
お待ちしております!
もちろん笑顔で!



資料請求

エブリッジホームのすべてがわかるHow to bookと作品集DVDを差し上げます。

